

平成 30 年度 RISH 電波科学計算機実験(KDK)シンポジウム
(第 392 回生存圏シンポジウム)
プログラム (Ver.4)

日時：平成 31 年 3 月 25 日（月）、26 日（火）

場所：京都大学 宇治キャンパス 木質ホール

以下のキャンパスマップの 4 番の建物です

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_uji.html

3 月 25 日 月曜日

14:50 – 14:55 開会の辞

14:55 – 15:00 海老原祐輔

今年度の利用状況について

15:00 – 15:20 江本一磨、神田大樹、月崎竜童、鷹尾祥典、西山和孝、國中 均

有人探査に向けた火星磁場異常による宇宙放射線シールドの可能性

15:20 – 15:40 田中高史

サブストームのトリガー機構

15:40 – 16:00 小路真史

内部磁気圏における EMIC 波動による非線形相互作用

16:00 – 16:20 近藤光志

非対称磁気リコネクションにおけるリコネクションジェット構造

16:20 – 16:40 三宅洋平

変動電場を伴うプラズマ中の衛星帯電現象について

16:40 – 17:00 清水 徹、近藤光志

テアリング不安定性の線形理論

17:00 – 17:20 銭谷誠司、梅田隆行、加藤恒彦

プラズマ粒子 (PIC) シミュレーションの Boris 型数値解法について

17:20 – 17:40 海老原祐輔、田中高史、上吉川直樹

太陽風から電離圏に至るエネルギーの輸送経路と変換過程

19:00- 懇親会（京串 寺蔵）<https://r.gnavi.co.jp/39g7xuye0000/>

※18:00 に木質ホール 1 階玄関前を出発します。現地に直接向かわれても構いません。

3 月 26 日 火曜日

09:30 – 09:45 銭谷誠司

（スパコンを効率的に使うためのチューニングと最適化について）

09:45 – 10:05 野儀武志、大村善治

2次元シミュレーションによるホイッスラー波動と電子の間のサイクロトロン共鳴と
ランダウ共鳴の競合関係

10:05 – 10:25 陣 英克、三好勉信、埜 千尋、品川祐之、藤原 均

MTI 領域の再現性向上のための大気圏電離圏モデルの改良

10:25 – 10:45 斎藤 享、山本 衛、齊藤昭則、Chia Hung Cheng

電離圏 3 次元トモグラフィと MU レーダーによる検証

10:45 – 12:00 ポスターセッション

ポスター発表 (3 月 26 日 10:50 – 12:00) (25 日午後から掲示できます。)

1. 清水 徹、西村勇輝

プラズモイド不安定性の MHD シミュレーション

2. 中村雅夫

大規模磁気リコネクションにおけるイオンダイナミクスと電磁場構造

3. 渡辺正和、田中高史、藤田 茂

磁気圏－電離圏大規模電流系におけるダイナモと沿磁力線電流源の関係

4. JIANG YAO、蔡東生、Sri. Ekawati

Identifying 3-D Vortex Using Magnetospheric Multiscale Mission

5. Sri Ekawati, Dong Sheng Cai

3D Magnetic Null Detection using MMS Satellite observation

6. 沖 知起、臼井英之、Wojciech J. Miloch、三宅洋平

Numerical study on the plasma dynamics associated with the formation of a small-scale magnetosphere

7. 疋島 充

磁気圏赤道域におけるホイッスラーモード波の生成

8. 藤野貴康、能崎航太郎、谷田部貴大

MHD 技術を応用した惑星大気突入技術に関する数値シミュレーション

9. 村中崇信、永井宏樹

数値計算によるイオンスラスタ搭載小型衛星における 構体電位がおよぼすスラスタプルーム電位への影響
解析